

# 特別養護老人ホーム ぬまづホーム 事業報告

## 1. 概況報告

令和7年度は、職員のモチベーションの維持、向上を目指し努めてきたが転職希望者が多い状況であった。

職員が不足する中、職員の募集（介護・看護・介護支援専門員・ヘルパー・労務など）を行ってはいたが応募はなく、少数はあったものの高額な紹介料が必要とされる状況で職員の補充は困難であった。また、特定技能の外国人については、確保できるものの転職者などもあり、その都度紹介料がかかる状況であった。

厳しい経営状況を踏まえ、各事業所の責任者と経営状況を共有し共に経営の黒字化を目指し運営を推進した。

在宅部門については、地域の在宅介護力の低下による要介護3になる前に施設（特別養護老人ホーム以外）に入所するケースが多くなっている現状から、在宅サービス利用者の軽度化が進んでおり、厳しい経営状況となっていた。しかし、軽度の利用者についても利用者ニーズに積極的に応えるサービス提供を心掛け利用者数の増に繋げた。その結果経営状況も改善がみられた。

入所については、前年度にあった感染症による入所利用者の減と補充がなかなかできない状況を踏まえ、感染症を持ち込まない目標を施設全体で掲げ、職員数名からは感染症が発生したものの、利用者の感染症については発生なく職員の努力が実績に繋がった。

利用者数については上期はなかなか稼働が上がらなかったが、下期で少しずつ増やす事ができて年度末には満床とすることが出来た。ショートステイについても同様の状況であった。

全体として、職員に少しずつではあるが黒字化の意識がでてきており適正なサービス提供を意識し、費用対効果を考えながら運営を行った。まだまだ優良な経営状況とまでは言えないが経営改善に繋げる事ができた。

### (1) 各事業

#### ①特養（介護老人福祉施設）

ケア提供体制の見直しを進め、集団的ケア体制と8時間夜勤体制を確立した。入浴支援については週4日体制へ再編し、ピュアットを活用することで更なる効率化を図った。また、外国人の雇用を増やし人員確保に繋げた。

#### ②ショートステイ

週間定期利用者の受け入れ拡大を目指したが利用者増には至らず空床期間が増加した。通院支援体制を整備したものの、対応は必要な利用者への個別支援に留まった。長期利用希望者の増加により方針を転換した結果、ご家族の利用に係る準備に時間が掛り早期利用が難しかった。

#### ③デイサービス

安定した稼働に向けて多様化するニーズに対し、柔軟な対応をした。勉強会を行い、質の良いサービスと信頼される関わりに繋げた。また、清潔な環境で過ごせるよう計画的に環境整備を行った。

#### ④ホームヘルプサービス

利用者の予防と介護の割合が大きく変化する中、稼働数を増やしていくよう他機関へ働きかけると共に利用者のニーズに応えるようにしたが、目標数値には届かなかった。

#### ⑤居宅介護支援事業

新規の受け入れをスムーズに行う為、2名で初回訪問し、マネジメント時迷ったり悩んだ時にサポートできる体制を目指した。行政と連携して、個別避難計画書の作成に取り掛かった。災害時のリスクマネジメントの視点は向上してきている。サービス付き高齢者住宅のケースを迅速に受け、施設で生活する方へ入居と同時に対応してきた。

## ⑥地域包括支援センター

第三支所の周知不足改善を図るため、支所カフェを立ち上げ、近隣住民を招いての周知啓発を行い、第三支所の相談件数拡大に繋げた。業務・役割分担と人員配置や営業時間の工夫により本所の運営との両立に努めた。下香貫、第三、大平民生委員の改選があったものの、旧民生委員を交えた連携と民児協定例会への参加により、包括支援ネットワークの継続強化を図った。

## (2) 運営管理

## ①事務

業務の透明化を推進し、担当外対応も順調に行うことができるようになったため、対応のスピードが上がり効率化に繋がった。

大きな修繕も無く安定した業務遂行ができた。

## ②看護

職員の体調管理と感染症流行期の面会中止により、インフルエンザ・新型コロナウイルス感染発生することなく、入居者の安全安楽で健康な生活を守ることができた。しかし、感染予防対策実践は徹底されず、職員周知や教育が未だ不十分のため達成出来なかった。

業務の標準化、効率化については成果があった。

## ③食事

食事提供方法の変更や欠員発生時においても適切に協議し、限られた人員体制の中で提供時間を遵守しつつ業務を遂行した。特養、デイサービスと共に連携してイベントを実施、月例の食のイベントについても継続して運営し利用者に喜ばれる食事企画の充実を図った。令和7年度の保健所監視指導では2回とも違反事項がなく模範とされ、引き続き清潔かつ安全な食事提供体制の維持に努める。

## 2. 施設概要

令和8年3月31日現在

名称	特別養護老人ホーム	ぬまづホーム		
事業内容	第1種社会福祉事業	※特別養護老人ホーム	定員	70人
	第2種社会福祉事業	※老人短期入所事業	定員	5人
		※通所介護事業 一般型	定員	25人
		認知症対応型	定員	12人
		※訪問介護事業		
		総合事業第1号通所事業 (通所介護現行相当サービス)		
		総合事業第1号訪問事業 (訪問介護現行相当サービス)		
	その他の事業	※居宅介護支援事業		
		地域包括支援センター		
		(※印は介護保険指定事業)		

所在地	静岡県沼津市下香貫猪沼981-2		
敷地面積	5,990.00㎡		
建物規模構造	特養	鉄筋コンクリート造3階建	4,370.30㎡
運営開始日	平成元年4月1日		

## 居室タイプ別床数

	個室	2床室	3床室	4床室	合計床数
1階					
2階	16		5	11	75
3階					
合計室数	16		5	11	75

### 3. 施設整備状況

年 月 日	物 件 名	数量	目 的 ・ 用 途
令和7年5月12日	栄養ケアマネジメントシステム ケアライズ	1	システム入替による整備
令和7年6月2日	N T T ひかり対応 P V X	1	業務効率化による整備
令和7年7月28日	居室天井カセット型エアコン	1	老朽化による更新
令和7年9月24日	パソコン デイサービス	1	老朽化による更新
令和8年3月12日	見守り機器 眠りSCAN	8	業務負担軽減による整備

### 4. 施設の開放状況（施設の開放）

開 放 先	内 容	回数
なし		

### 5. 職員派遣状況

派 遣 先	派 遣 者	内 容	回数
沼津市老人ホーム入所判定会	笹原尚登	沼津市老人ホーム入所判定会	2
静岡県介護支援専門員協会	花沢恵子	介護支援専門員実務者研修等の講師	4

### 6. 施設の開放状況（ボランティアの受入状況）

団 体 名	年間回数	1回当たり平均人数	延べ人数
歌姫コーラス	2	2.5	5
沼津ハーモニカクラブ	1	15	15
ミスターひばり	1	2	2
レインボーハート	1	13	13
吉田フラダンス	1	8	8
ベルバンド	2	6	12

### 7. 研修受入状況

受入事業所	受入団体名	内 容	受入人数
かぬき地域包括支援センター	沼津市立看護専門学校	臨地実習	8
かぬき地域包括支援センター	静岡医療センター看護専門学校	臨地実習	6
かぬき包地域包括支援センター	日本福祉大学	臨地実習	1
かぬき居宅介護支援事業所	国立病院機構 静岡医療センター	臨地実習	1
特別養護老人ホームぬまづホーム	知徳高等学校	施設実習	3
特別養護老人ホームぬまづホーム	大原介護福祉専門学校	施設実習	2
特別養護老人ホームぬまづホーム	静岡福祉大学	施設実習	1
かぬきデイサービス	沼津市立第四中学校	職場体験	1
かぬきデイサービス	沼津市立第三中学校	職場体験	1

## 8. 事業別利用状況

## (1) 特別養護老人ホーム 利用状況

①入所状況 (定員: 70人)

(4月1日～3月31日)

期首在所	期中入所	期中退所	期末在所	期中延数 外泊含まず	1日平均 在所数	在籍中 入院延数	ショート 空床利用数
61	20	12	69	24,299	66.6	207	0

②介護度別入所者数

(4月1日～3月31日)

区 分	要介護5	要介護4	要介護3	要介護2	要介護1	計	平均介護度
男	60	161	38	0	0	259	4.08
女	140	321	89	12	0	562	4.05
計	200	482	127	12	0	821	4.06

(2) ショートステイ 利用状況 (定員: 5人)

(4月1日～3月31日)

区分	介 護						予 防			合計
	要介護5	要介護4	要介護3	要介護2	要介護1	小計	要支援1	要支援2	小計	
利用者延人数	38	409	254	208	106	1,015	0	22	22	1,037
	一日平均									2.8

(3) デイサービス一般型 利用状況 (定員: 25人)

(4月1日～3月31日)

	要介護5	要介護4	要介護3	要介護2	要介護1	要支援2	要支援1	事業対象者	自主事業 (自費)	合計
利用者実人数	0	13	94	157	106	191	134	50	25	770
利用者延人数	0	84	1,080	1,619	997	1,145	583	383	107	5,998
開所日数	310	310	310	310	310	310	310	310	310	310
	一日平均									19.3

(4) デイサービス認知型 利用状況 (定員: 12人)

(4月1日～3月31日)

	要介護5	要介護4	要介護3	要介護2	要介護1	要支援2	要支援1	自主事業 (自費)	合計
利用者実人数	16	17	39	76	100	0	0	0	248
利用者延人数	166	178	465	875	1,005	0	0	0	2,689
開所日数	310	310	310	310	310	310	310	310	310
	一日平均								8.7

(5) ホームヘルプサービス 利用状況

(4月1日～3月31日)

区 分	身体介護		生活援助		身体生活		小計		総合事業		合計	
	延回数	延時間	延回数	延時間	延回数	延時間	延回数	延時間	延回数	延時間	延回数	延時間
介護保険	1,811	1,462:00	97	183:30	1,093	1,177:30	3,001	2,823:00	2,548	2,548:00	5,549	5,371:00
障 害	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
自 費	0	0	0	0	129	122:00	129	122:00	117	162:30	246	284:30
計	1,811	1,462:00	97	183:30	1,222	1,299:30	3,481	2,945:00	2,665	2,710:30	5,795	5,655:30

## (6) 居宅介護支援事業 給付管理状況 (4月1日～3月31日)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画件数	159	159	163	161	160	170	169	174	182	169	165	168	1,999
予防プラン受託件数(総合事業含む)	148	147	144	149	143	145	147	153	150	146	150	154	1,776

## (7) かぬき地域包括支援センター利用状況

## ①地域包括支援センター 実績状況(マネジメント業務) (4月1日～3月31日)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護予防支援	88	87	89	95	90	90	88	88	92	92	92	90	1,081
介護予防支援(委託)	194	191	194	207	213	213	219	219	216	211	206	209	2,492
介護予防マネジメント	61	58	55	54	53	48	49	48	47	51	52	51	627
介護予防マネジメント(委託)	98	97	97	96	90	92	90	93	88	88	87	88	1,104

## ②地域包括支援センター 実績状況(相談業務等) (4月1日～3月31日)

## 相談件数・内容

内 容	件 数
在宅介護	394
施設介護	39
介護予防	29
医療相談	72
権利擁護	71
将来不安	70
不満・苦情	17
トラブル	11
その他	32

## 権利擁護に関する活動

内 容	件 数
高齢者虐待に関する対応	4
日常生活自立支援事業の活用	0
成年後見制度の活用	6
消費者被害等への支援	3

## 開催実績

開 催 実 績	人 数
フレイル予防教室12回	239
フレイルチェック5回	42
認知症カフェ26回	51

## 9. 事故・苦情報告 (4月1日～3月31日)

区 分	特養	ショート	デイ一般	デイ認知	ホームヘルプ	Gホーム	小規模	ケアハウス	居宅支援	包括	配食	合計
事 故	6	0	0	1	3				0	4		14
苦 情	0	0	0	0	0				0	0		0

## 10. 職員常勤換算数前年対比 (3月31日現在)

	前年度末人員		当年度末人員	
	職 員 数	常勤換算数	職 員 数	常勤換算数
常 勤 職 員 数	68	68.0	63	63.0
非 常 勤 職 員 数	36	18.0	37	18.5
合 計	104	86.0	100	81.5